

# 杉谷ひろば

No.15

杉谷さんとともにまちを創る会  
2012年 5月 7日発行

向日市寺戸町辰巳4-1-101号  
杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

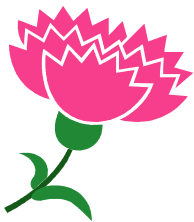
## 稼働原発 ゼロ

# 危険な原発は動かさない！ 日本の未来が決まる

5月5日、子どもの日に、北海道の泊<sup>とまり</sup>原発3号機が停止し、日本中の50基の原発のすべてが停止しました。まだ安全とは言えませんが、巨大事故の危険が少なくなったことは確かです。

原発は現在危険であるだけでなく、未来の世代に大きな負担を残します。廃炉に40年、使用済み核燃料は最終処分場で10万年も管理しなければなりません、その技術は未確立です。「原発がなければ日本経済は成り立たない」という魔法から目を醒まし、原発の無い安全な社会を創ってゆきましょう。私たちは今、そのスタートラインにいます。

この機会に、私たちの社会のあり方を見直す必要があるでしょう。経済成長至上主義の社会から、自然と調和し持続可能な社会へ、また経済効率最優先の社会から、人間らしく働き生きる多様性を尊重する社会へ。「夏の電力不足を乗り切るには原発が必要」といった脅しに負けず、原発の再稼働を止めましょう。これからの数ヶ月は、日本の未来を決する数ヶ月です。



## 皆さんから寄せられた声

### 「震災ガレキで緑の防潮堤を」

橋下大阪市長の脱原発は、本物かどうか見極める必要がある。民主党に反対しているためだけではないか。根元のハズムにだまされてはならないと思う。ガレキは関西まで持ってこないで、坂本龍一さん達の言っている、現地での緑の防潮堤(※)にする地産地消に賛成します。(Y)

(※) 震災がれきのほとんどは廃木材やコンクリートで、エコロジカルな『地球資源』であり、捨てたり焼いたりしないで有効活用し、海岸部に埋めて防災・環境保全林を造ろうというもの。

### 「CRPSを特定疾患に認めて」

私は交通事故によりCRPS(複合性局所疼痛症候群)で苦しんでいます。介護保険を支払っていても、特定疾患でないから、その適用がありません。CRPSを特定疾患に認めて頂きたいです。滋賀県議会では認める方針が採択されています。私のように苦しい思いの方は沢山います。(Y)

### 5/12 市民参加のまちづくり例会

- 日時：5月12日(土)午前10時～12時
- 場所：杉谷ひろば
- テーマ：JR向日町駅のバリアフリー改修計画内容をチェックします(JR西が5月中旬に計画を公表し市民意見を公募予定)



### 連絡先

TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-932-1325  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

# 杉谷伸夫の活動報告

## 雇用作り・市民生活支援 の取り組みを学ぶ

### 4 / 19 大阪府豊中市で 市民派議員学習・交流会

4月19日、大阪府豊中市で「今、改めて“社会保障”を考える」をテーマに開催された「第83回近畿市民派学習交流会」に参加し、介護保険、生活保護、パーソナルサポート活動について勉強してきました。特に、生活や就労で困難に陥っている市民一人ひとりを支援する豊中市の「パーソナルサポート」の活動が勉強になりました。

## 市民福祉に貢献する 議会への改革を学ぶ！

### 4 / 25 亀岡市議会の議会改革を視察

4月25日、向日市議会の議会活性化特別委員会（10人・私が副委員長）で、亀岡市議会の議会改革を勉強に行きました。亀岡市議会では「議会基本条例」を制定し、その目的を「市民の信頼に応える責任ある活動により亀岡のまちづくりを推進し、市民福祉の向上に寄与する」と定めています。

### 「市民に開かれた議会に変える！」

市民との関係で亀岡市議会が向日市議会と大きく違う点は、

#### ●市民と議会の対話

年4回の定例議会の後、公民館など市内数カ所で議会報告会を開き、市民と対話する場を持っています。

#### ●市民への公開

議会の模様はインターネットで公開。採決での各議員の態度も公表しています（向日市議会ではこんな当たり前のことが非公開）。

1つは、地域の見守りと連携して、生活苦・社会的孤立に陥っている人を、自立に至るまで継続的に、行政の縦割りを越えて支援する取り組みです。

### 継続した雇用につながる 事業の立ち上げを支援

もう1つは、被解雇者、要生活保護者などへの雇用を地域で創出していく取り組みです。リーマンショック以降、激増した失業への対策としての緊急雇用対策事業が、多くの自治体で、その時限りの「食いつなぎ」的な雇用に留まっている中で、豊中市では、政府の緊急雇用創出基金を活用して、その人の継続した雇用につながる様々な事業の立ち上げを支援していました。

ともに市役所から委託を受けた社会福祉協議会の取り組みとして行われていました。これらは、地域の活動がベースにあってはじめて可能なものですが、先進的な取り組みを常に学んで、私たちのまちに生かせるようにしていきたいと思えます。

#### ●市民の権利保障

参考人・公聴会など、市民の意見を議会へ生かす制度を設けています。

議会傍聴者には資料が配付されます（向日市は無し）。

その他多くの改革が行われていますが、一番強く感じたことは「市民に開かれた議会に変える！」という改革への意志です。

向日市議会では、議会主催の議会報告会を今後開催していこう！ということが概ね合意となりつつありますが、それはほんの一步です。向日市議会の改革は大きく立ち遅れています。市民主権が貫かれた抜本的な改革を進めていきたいと思えます。



一問一答質問席にて  
(4 / 25 亀岡市議会議員視察)

## 杉谷伸夫の議会報告会より

### 参加の皆さんと意見交流

4月14日（土）、向日市民会館で第3回目の「杉谷伸夫の議会報告会」を開催しました。今回は参加されたみなさんからの質問・意見交流を中心に行いました。

3月議会の最大議案であった新年度予算について、広報むこうの記事を参考に使いましたが、大いに改善が必要だと感じました。例えば「○事業費△万円…」とたくさん項目が列記されていますが、多すぎて見る気力がなえてしまいそうです。また事業名だけでは何をするのかさっぱりわからないものがあります。

まちの情報は「掲載した」だけではダメで、「見て理解」されて初めて「市民に伝わった」と言えます。「主権者である市民の皆さんに、必要な情報を正しく伝える」視点で、向日市の仕事の改革を、引き続き求めていきたいと思えます。

### 出された意見から（抜粋）

- 阪急東向日駅～JR向日町駅間の府道工事が進められているが、歩道が左右に傾いている。両側とも同じ方向に傾いていて、車椅子で通った体感で違和感がある。
- 東向日駅前のイオンの駐車場・駐輪場の縮小について、先日説明会があった。東向日のイオンは今後どうなるのか心配だ。
- 「子育てがしやすい」というのが、向日市のまちづくりの「売り」だ。その点をもっと追求していくべきだと思う。
- 向日市の各小学校のホームページは、長岡京市と比べても見劣りがする。もっと力を入れるべきではないか。
- 図書館の空調設備の改修に、なぜ5ヶ月もかかるのか。もっと早くできなかったのか。また水漏れ補修を一部したそうだが、本改修の機会だったので、他に補修しておくべき項目は無かったのか、議会もしっかりチェックしてほしい。
- 市の幹部クラスの入替えが激しすぎるように思う。これでは行政の専門性、継続性に不安がある。

## 大飯原発再稼働を認めないで！

### 5 / 2 舞鶴・綾部・南丹市を訪問

#### 大飯原発30キロ圏に府民15万人

5月2日、「放射能から子どもを守る会・京都」の一員として、大飯原発から30キロ圏内にある京都府舞鶴市・綾部市・南丹市の市長・議会あてに、「大飯原発の再稼働に反対すること」「放射能汚染されたガレキの受け入れを行わないこと」を要請に行ってきました。

1-2月に福井県の原発立地・周辺自治体4市5町に要請に行った際には、大飯原発の地元おおい町議会が私たちの要請を趣旨採択したので、今回も各議会に「陳情」を提出してきました。

#### 舞鶴・綾部市長も「認めることは困難」

舞鶴市、綾部市は、それぞれ高浜・大飯原発から10キロ、20キロ圏内に入り、まさに原発に隣接しています。両市の市長とも、大飯原発再稼働に対しては「現状では認めることは困難」との立場であることが、担当課より説明されましたが、「政府は滋賀・京都・大阪の知事が反対

していても再稼働を強行する可能性がある。地元・周辺自治体から明確な反対の意思表示をしてほしい！」と要請しました。

また、舞鶴市が震災ガレキの受け入れに前向きと報道されていましたが、「地元で処理している廃棄物を調査し、放射性物質の濃度が同等かそれ以下であることが条件」であり、放射能汚染されたものは受け入れない方針であると説明されました。

#### 若狭の原発の「真の地元」は京阪神

若狭の原発は、京阪神で消費する電力を供給するために作られたものです。問われているのは、危険な原発を若狭の人たちに押しつけなくて良い社会にしていくか否か、私たちの姿勢なのです。そして原発立地自治体が原発に経済的に依存しなくて良い地域社会にしていくため、支援していく責任が私たちにはあると思います。この夏、真剣に考えていきたいものです。（杉谷）

## 私の主張

# 障がい者が働き続けられる支援を！

吉岡 幸子

障がい者雇用については、法定雇用率（民間企業は1.8%、国・自治体は2.1%）が定められていますが、多くの場合、今働いている職員が障がい者になって、その雇用を継続することで法定雇用率の枠の多くが占められており、障がい者の新たな雇用にはなっていません。私もその一人です。

軽い障がいの人しか雇われないし、給与も健常者と差をつけられます。それだけではなく有

期雇用でしか雇われないケースが多いのです。障がい者は人間として、差別を受けています。

私は、京都市内に通勤して働いています。職場では狭い室内を動き回るために、通勤用の車椅子と別に、小回りのきく車椅子が必要なので、その支給を求めています。向日市も京都府も認めてくれませんが、私の場合、こうした支援がなければ今の仕事を続けていくことは本当に厳しいので、安い給与の中から自費で車椅子を購入するか、もしくは仕事を辞めざるを得なくなるかもしれません。

多くの障害者が生活保護を受けながら生活しています。私は、生活保護より安い電動車椅子を支給しない市の方針に疑問を感じます。誰でも障がい者になり得るし、皆が自分のこととして考えてほしい。障がい者が働き続けることのできる権利を認めてほしいと思います。

## 原発を問う民衆法廷

### 5/20福島法廷に参加します

福島原発事故の責任を市民の手で裁く「原発民衆法廷」の東京法廷（2/25）に続き、4/15には「原発再稼働は犯罪だ」と訴えた大阪法廷が開かれました。若狭・愛媛県伊方町の地元の方から、また福島事故で避難してこられた方から申し立てが行われました。福島原発事故を裁く法廷は、次回5/20福島県郡山市で開催される予定です。私も参加してきます！（杉谷）

## 京都・市民放射能測定所

### 5/19 オープン・セレモニー

京阪「丹波橋」駅前の京都・市民放射能測定所に、4月6日に測定器が納入されて以降、測定実習を繰り返してきましたが、5月19日に開設祝いをし、20日からオープンすることになりました。測定対象は食材のみ、完全予約制、1検体1時間です。詳しくはお問い合わせを！

(070-5664-2713・佐藤)

5/19（土）午後2時～呉竹文化センター

## 連載 ポイント解説

# 向日市の歴史

鈴木 健弘

## 第8回 もずめ 物集女

当市の一番北部、京都市西京区と接する所、物集女（もずめ）。寺戸町に次ぐ面積をもつがこれといって何の特徴もない町である。市制施行の必須条件の一つ、公立の総合病院の代打役の第二京都回生病院（今年5月より向日回生病院に改称～当市の唯一の総合病院）は、明治以来80数年後、向日町にはじめて出来た由緒ある施設である。遺跡としては、中海道遺跡、車

塚古墳、淳和天皇火葬塚、物集女城遺跡ぐらいというところか。ただ集落としては古代から栄えていた由、平安時代には既に物集郷があった。

大阪市の南、堺市の百舌鳥は古墳時代から多くの文化を育んだ地方と言われ、今この地方を世界遺産に登録しようと、計画が進められている。この地方を地盤としていた土師氏の氏族が来たからと言う。土師郷の一部として物集郷があったらしく、物集郷は和泉（いずみ）国百舌鳥野にいた百舌鳥氏に由来すると言う説明がある。ここは仁徳天皇陵をはじめ、巨大な古墳群があり、仁徳陵は毛受耳原（もずみみはら）、履中天皇陵は毛受（もず）に、反正天皇陵は毛受野（もずの）にあった（古事記）。しかし土師氏が喪葬儀礼や造陵に伴う土木工事を行っていたとしても、山城乙訓の物集郷と和泉の物集郷が結び合いにくい。